

地盤工学会関東支部 平成 25 年度第 1 回評議員会 議事録

日 時：平成 25 年 10 月 17 日（月） 16：00～17：10

場 所：地盤工学会会館 地下大会議室

出席者：＜評議員＞ 赤木寛一氏・那須誠氏・正垣孝晴氏・鈴木高二朗氏（松永康男氏の代理）・秀島哲雄氏・平山光信氏・今村遼平氏・浜田英治氏・佐藤謙司氏・北本幸義氏・森田邦昭氏・山口文芳氏・安部有司氏・金道繁紀氏

＜支部役員＞ 國生支部長，田中副支部長，佐伯副支部長・石原顧問，小椋支部監事，小峯幹事長，坂上副幹事長，橘副幹事長

委任状：評議員 35 名

1. 支部長挨拶と議長選出

國生支部長より，台風 26 号による伊豆大島での地すべり・土石流の災害調査に向けて土木学会と連携して調査団の派遣を調整中であること，平成 25 年 10 月 4 日に開催された支部発表会 GeoKanto2013 が盛会であったこと，支部表彰を設け候補を募集中であること等の話題を織り交ぜた挨拶がなされた。

引き続き，支部規程に則り國生支部長が議長に就かれた。

2. 出席者数の確認

現評議員数 52 名のうち、出席者数 13 名（終了時には 14 名）、委任状 35 通，計 48 名（同 48 名）の出席（出席率 92%（同 92%））により，本評議員会の成立（評議員の過半数の出席により成立）を事務局より報告した。

3. 【1. 役員体制の変更（案）】

小峯幹事長より，評議員 3 名の変更案について説明を行った。

以上の役員体制変更案は，挙手による採決の結果，挙手 13 名，委任状 35 名，合計 48 名により承認された。

4. 【2. 上期活動報告と下期活動予定（案）、上期正味財産増減状況】

小峯幹事長より，上期の活動内容に関する報告と，下期の活動予定（案）について説明を行った。

坂上副幹事長より，上期正味財産増減状況について報告を行った。

＜質疑＞

石原研而顧問より，平成 25 年度に立ち上げられた研究委員会「地盤リスクと法・訴訟等の社会システムに関する事例研究委員会」について，保険会社関係の方が委員にいらっしゃるか，質問があった。この質問に対し，國生支部長，小峯幹事長より，現状では保険会社関係の方は委員にいらっしゃらないが，委員会の性格上，保険会社関係の方も入っていただくことが望ましいため，当該委員会に検討を依頼する旨，回答があった。

那須誠評議員より，本部と支部との財政状況の関連性について質問があった。この質問に対し，小峯幹事長より，本部支部連絡協議会等で財政状況の情報交換を進めていることが説明され，支部としての健全な予算の執行を努める旨，回答があった。

以上の質疑の後、挙手による採決の結果、挙手 14 名、委任状 35 名、合計 49 名により報告内容は了承された。

5. 【3. その他】

國生支部長、小峯幹事長より、平成 25 年度地盤工学会関東支部賞候補募集について説明があり、評議員の方々から多数の推薦をいただけるようお願いがあった。このことに関連し、下記のような質問をいただいた。

鈴木高二朗氏より、技術賞の対象について、施工の途中にある工事でも応募は可能であるか、質問があった。この質問に対し、國生支部長、小峯幹事長より、小さい工事案件でも応募は可であり、施工途中であっても、例えば住民説明や PR 方法を成果とした応募も広く受け付ける旨、回答があった。

鈴木高二朗氏より、受賞対象となる成果は、いつまで遡ることができるか、質問があった。この質問に対し、國生支部長より、今回は関東支部賞の第一回目の募集であり、支部設立から現在に至るまでの 10 年間の成果を受賞対象とする旨、回答があった。

北本幸義評議員より、工事の現場が関東地域外であっても、受賞者が関東支部に在籍する個人や団体であれば応募することができるかどうかについて質問があった。この質問に対し、國生支部長より、そのような場合であっても応募は可であり、本部の学会賞と受賞が重複することもあっても良いという回答があった。

6. 閉会の挨拶

「以上で本日の議案の審議はすべて完了いたしました」との議長の発言をもって閉会した。

以上

議事録作成 橘 伸也